



せんだいメディアテークは開館10年を迎えます。

記者発表資料
平成22年9月14日
(担当)せんだいメディアテーク
企画・活動支援室(清水建人)
(電話)713-4483

開館10周年事業 5番チューブ再開発計画 vol.6 「Depth of Field」を開催

メディアテークの館内の創造性をより大きな可能性につなげていく「管」として、階段とその周辺を活かした新しい使い方や楽しみ方を考える企画「5番チューブ再開発計画」。

今回は、アートやデザインの分野で活躍する石橋素と真鍋大度が、コンピュータープログラミングと機械制御技術を駆使し、市販のエアガンを、鑑賞者の姿を描き出す新しい装置として作品化します。開館10周年事業「いま、バリアとはなにか」の全館を使った作品展示のひとつです。あわせてお楽しみください。

記

- 1 会場 せんだいメディアテーク 5番チューブ内など
- 2 会期 2010年9月18日(土) - 12月26日(日)
- 3 開場時間 11:00 - 17:00 光のページェント点灯後は21:00まで延長
- 4 入場料 無料
- 5 主催 せんだいメディアテーク
- 6 作家 石橋基+真鍋大度
- 7 ホームページ <http://www.smt.jp/tube5/>

8 作家略歴

石橋基 (いしばしもとい)

1975年生まれ。東京工業大学制御システム工学科卒業。IAMAS卒業。IAMAS在学中より、コンピュータープログラミングを用いたインタラクティブな作品制作を始める。テクノロジーを駆使した新しい遊びとプロトコルをテーマにインターフェイスデザインやデバイスの設計開発を行う。2006年、株式会社DGNを設立し、ファッションブランドの店舗や科学館等における展示システムの企画・制作も行う。ハッカーズスペース"Anchor 5 la6" (アンカーズラボ) ディレクター。

真鍋 大度 (まなべだいと)

1976年生まれ。東京理科大学卒業。IAMAS卒業。コンピュータープログラミングによる音響・照明・映像のデザインと動作制御で、国内外を問わず数多くのミュージックフェスティバルや、ダンスプロジェクトなどに参加している。2009年1月に行われたアルスエレクトロニカセンターのオープニングイベントでは、ザカリー・リーバーマン率いるYesYesNoとのコラボレート作品を発表する他、筋電位センサーと低周波発生器を用いたパフォーマンスとDJも行った。顔面を音楽のヴィジュアルライザーとして扱ったYoutubeの実験映像がギーク系ブログで話題になりヶ月足らずで100万ビューを達成。ハッカーズスペース"Anchor 5 la6" (アンカーズラボ) 共同主宰。Rhizomatiks取締役。

※「チューブ」は、せんだいメディアテークの構造において、鉄パイプを円筒状に組んだ中空の構造によって建物全体を支えつつ、管として各階を繋ぐ役割も果たしています。全部で13本あり、南東角の大きな階段のあるチューブが5番チューブです。